

希望調査先アンケート結果

A = 地域における子どもの居場所 B = 外国にルーツを持つ子どもの社会教育のあり方

| 希望調査先名称 | 理 由 | 関連するグループ | 提案者 |
|--------------------------------|---|----------|---------|
| NPO法人ワンダーアート | アートを媒介として(主に)障害をもつ子どもたちが活動する場を提供している。と同時に、社会的弱者(子どもに限らない)が受け入れられにくいのは社会に接する機会が少ないからというお考えを団体代表の高橋さんはお持ちであり、家庭ひいては社会と子どもたちがつながるヒントを提供いただけるのではないかと考えた。 (https://www.wonderart.info/about) | A | 阿部委員 |
| インテラック東北イノベーションセンター企業体験ワークショップ | 企業体験ワークショップを通し子供が自ら考える学びの場を提供している。 | A | 高橋(美)委員 |
| 学校図書室開放事業 | 本を通した子供たちや地域住民の居場所となっている。 | A | 高橋(美)委員 |
| 放課後子ども教室 | 各放課後子ども教室では様々な学びを工夫し提供している。東宮城野小、西中田小の取り組みは素晴らしい。他の放課後子ども教室も個性豊かな学びの場となっている。 | A | 高橋(美)委員 |
| たいはくっこくらぶ | 地域の大人が子供たちの居場所と体験を通した学びの場を提供している。 | A | 高橋(美)委員 |
| 愛子スポーツ少年団(軟式少年野球) | 地元プロ野球の球団もあること、また全国的に少年野球のスポ少は多い(一般的)だろうと思い、少年野球を例にして、どのように子どもの居場所になっているのかを調査するのも良いと考えた。他地域の状況や外国にルーツを持つ子どもを受け入れている少年野球チームなどの情報を得られるかもしれない。 | A | 中山委員 |
| NPO法人アスイク | 不登校、虐待、ヤングケアラー、所得の低下やひとり親家庭の増加など、子ども・若者たちの見えにくい生きづらさに目を向け、市民ボランティア、企業、自治体などと協働し、学習支援を核に、フリースペース、こども食堂や、保育園、児童館などの運営もしており、ニーズに応じ幅広く活動が展開できていること、どのように活動を維持しているのかもぜひ伺いたいと思いました。 | A | 沼里委員 |
| ろりぼっぴ小学校(イエナプラン教育認定校) | 子どもの個性や自発的な学びを大切にしているだけでなく、異年齢構成のグループでの対話や、共生できる社会人を育てるという理念をもつイエナプラン教育を取り入れており、興味があったため。 | A | 沼里委員 |
| 映画「夢見る小学校」 | ”子どもファーストな学校”を实践する3つの小学校を取り上げたドキュメンタリー映画。 (個人的な意見ではありますが)親の事情や都合で、子どもたちの選択肢や行動、環境が制限されることは多くあると思いますが、新しい教育を实践する学校の姿を見ることで、居場所は学校の補助的な役割ではなく、同じ位置づけになるのではないという視点を持つことが出来る映画でもあるため。 | A | 沼里委員 |
| みんなのBASE | SNSでの発信をよく目にするので興味を持ち、提案してみました。 | A | 若生委員 |
| つるがや子ども食堂 | 「食育」とおとした子どもの居場所づくりや児童館との連携とおした朝こども食堂活動を展開している。 | A | 朴委員 |

| 希望調査先名称 | 理 由 | 関連するグループ | 提案者 |
|--|---|----------|------|
| 公財)仙台観光国際協会 (SenTIA) | 仙台市における外国にルーツを持つ子ども支援においては、MIAと連携を組んで行うことも多い。 | B | 朴委員 |
| 公財)宮城県国際化協会 (MIA) | | B | 朴委員 |
| 「こどものための日本語講座 「さっと日本語クラブ」」 | (https://www.int.sentia-sendai.jp/nihongo/class/satto-jclab) | B | 朴委員 |
| 外国人の子ども・サポートの会 | 日本語学習支援や生活支援をなさっている団体が子どもの支援も行っている可能性あり。 | B | 朴委員 |
| | この3つの団体は連携をとりながら支援を行っているようなので、その連携から生まれる効果なども知見として得ることができるのではと考えます。 | B | 野原委員 |
| | | B | 野原委員 |
| 外国につながりをもつ子どもの 応援ネットワーク「おむすび」 | この3つの団体は連携をとりながら支援を行っているようなので、その連携から生まれる効果なども知見として得ることができるのではと考えます。 | B | 野原委員 |
| 日本語を母語としない子ども と親のための進路ガイダンス | | B | 野原委員 |
| 八幡小学校 | | B | 朴委員 |
| 茂庭台小学校 | 外国にルーツを持つ子どもが多く在籍している学校である。 この頃は、多くの学校に少人数の外国のルーツの子どもたちが点在している傾向があるようです。仙台市内の公立小学校の7割に、外国ルーツの子どもたちが在籍していると聞いている。 | B | 朴委員 |
| 国見小学校 | | B | 朴委員 |
| | 国見小学校は外国にルーツを持つお子さんが多い小学校であり、地域で様々なつながりをもって支えていらっしゃる場所であるため。 | 両方 | 若生委員 |
| 仙台市図書館(移動図書館 サービス、子ども向けイベント 等の担当者) | 予備調査的位置づけとなると思われるが、市立の施設における両テーマに対する取り組み状況を把握してはどうか。移動図書館サービスを含めたのは、施設の地域的な「偏り」を補う取り組みと考えられるため。 | 両方 | 泉山委員 |
| 宮城華僑華人女性联谊会(宮 華女) | 華僑華人の子どもを対象に「児童中国語趣味班」を開講しており、中国語教育だけでなく、華僑華人の子どものアイデンティティ形成を目指した活動を行っている。 | 両方 | 朴委員 |

その他 いただいたご意見

調査先として具体で名前を挙げるまでの情報がありませんが、子ども食堂や中学生の居場所づくりにフォーカスしているところの話を聞きたいです。